

一

問一 a || カタヨ b || ヒボウ c || 採択 d || 浸（滲）透 e || サカノボ

f || 配慮 g || ホウセツ h || 発揮 i || ソガイ j || 促進

問二 情報通信技術の革新で知的活動や効率は向上したが、同時に私たちの心身は常に外部と接続可能な緊張状態となり、ネット上での誹謗中傷などの問題もあって疲弊しているから。（八〇字）

問三 前者は福祉の対象を保護や救済が必要な社会的弱者と考えているが、後者は福祉の対象を能動的な主体として捉え、個人としての充足感や自律性を尊重し、一人一人が心身ともに豊かに生きられるような社会を実現すべきだと考えている。（一〇七字）

問四 A || イ B || ウ C || ア D || ウ

問五 個人の心身を豊かにして社会貢献を目指す個人主義的な視点のみならず、他者との関係性・共同性を築いてゆく中で価値を創出する集産主義的な視点も備えて、不特定多数の人々の間や公共の場にある人々の心身を豊かな状態に保つこと。（一〇七字）

問六 種々の領域にまたがるウェルビーイングの総体を捉えるために、その意味や価値を明瞭にすること。（四五字）